



# 大阪医学統計学セミナー 第44回

Osaka Biostatistics Seminar

6月24日 (金)

18:00~19:30

## 「無作為化試験におけるRMSTに基づく被験者数の決定について」

講演者：服部 聡(大阪大学医学統計学)



OSAKA UNIVERSITY

場所：  
オンライン開催  
医学系研究科基礎研究棟L階  
医学統計学研究室

参加ご希望の方は、前日までに下記問い合わせ先にメールにてお申込みください。

概要：

生存時間を評価項目とする無作為化臨床試験では、ハザード比で治療効果を要約することが多く、対応して、ログランク検定で検定を行うことが広く行われる。

この場合、目標イベント数に達した時点で解析を実施することで、検出したい治療（ハザード比0.7など）に対する意図する検出力を確保することができる。

制限付き平均生存期間(RMST)は、ハザード比に代わる治療効果の指標として注目を集めているが、RMSTに基づく検定の検出力は治療効果（RMST差30日など）以外のパラメータに依存し、デザイン時点での目標被験者数が検出力不足になる可能性がある。本研究では、無調整および共変量を調整したRMSTに基づく検定の盲検下での被験者数再設定法について議論する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座

E-Mail : [office@biostat.med.osaka-u.ac.jp](mailto:office@biostat.med.osaka-u.ac.jp) TEL : 06-6879-3301